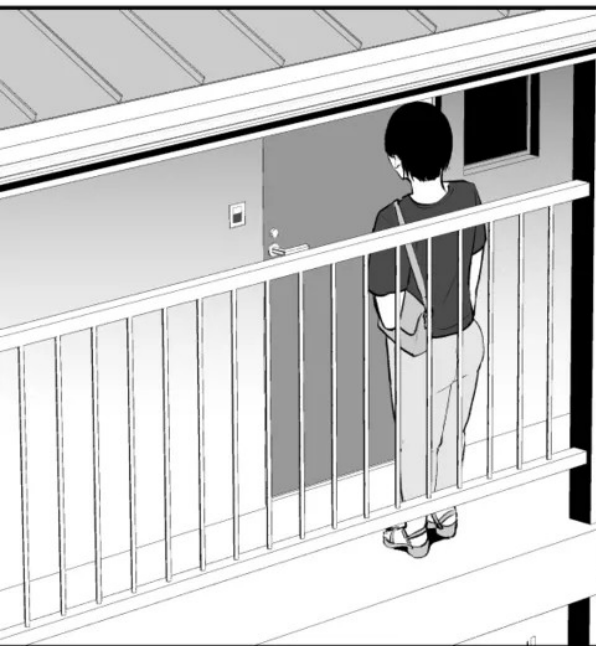


# 訪問懐子

—ホウモンカイゴ—





今日私は訪問介護の  
アルバイトの  
面接を受けるため  
雇い主である  
山内さんという方が住む  
アパートにやってきた



怪しげでは  
あったものの  
高額のお給金に  
つられてしまっ  
たのである

キツカケは  
一枚のチラシ  
だった



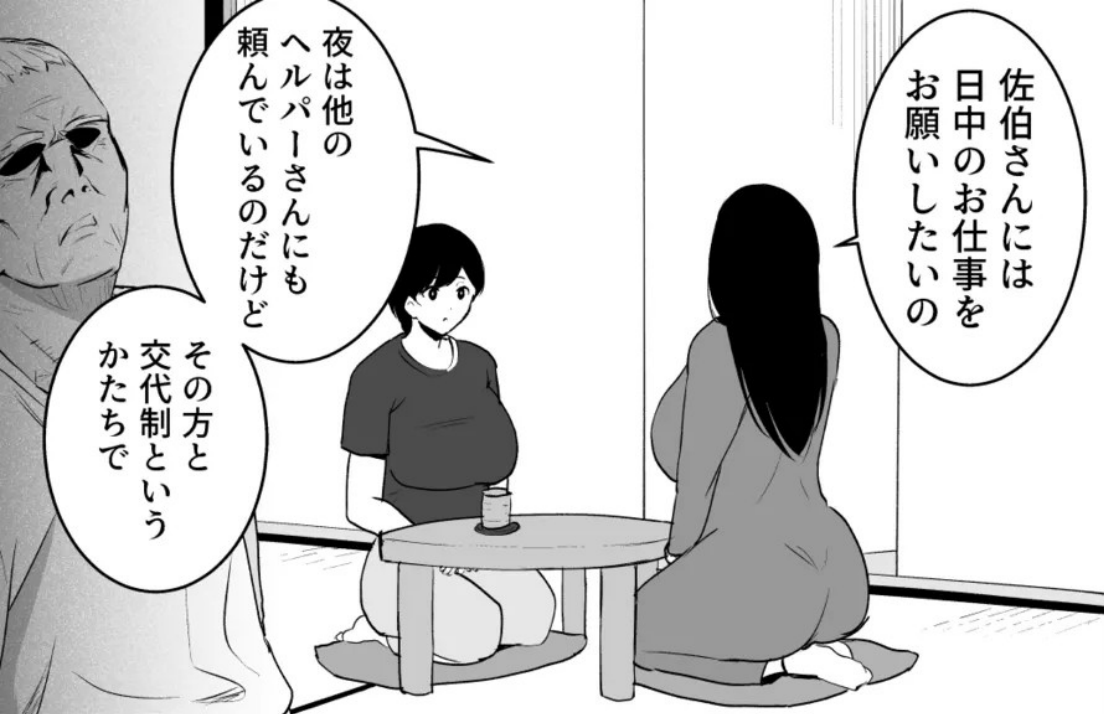
はい

ギィ  
……



ようこそ

佐伯さんよね？  
よく来てくれたわ♪



—という  
わけで

佐伯さんには  
日中のお仕事を  
お願いしたいの

夜は他の  
ヘルパーさんにも  
頼んでいるのだけど

その方と  
交代制という  
かたちで



なるほど…

目の前のご婦人  
礼子さんは  
見るからに高貴な  
雰囲気身を  
まとっている

チラシに  
書いてあった  
給料も本当  
なのかも…



あつ  
いけない

大事なことを  
聞き忘れて  
いたわ

佐伯さん  
たしかご結婚は  
されていたわよね

お子さんは？

いえ  
まだ…

お腹の中にも  
まだ？

え…あ  
はい

そう  
よかった

…？

ほら介護って  
肉体労働じゃない？  
もし身重の体なら  
大変だと思って

ああ  
そうですね

でもしばらく  
子どもをつくる予定は  
ないので大丈夫です

ふふっ

佐伯さんになら  
安心して  
任せられそうね

それじゃ  
“夫”のこと  
よろしくね

夫だったの!?





ムシムシして  
暑いですねー



ブ...



そうだ  
お風呂に  
しましうか



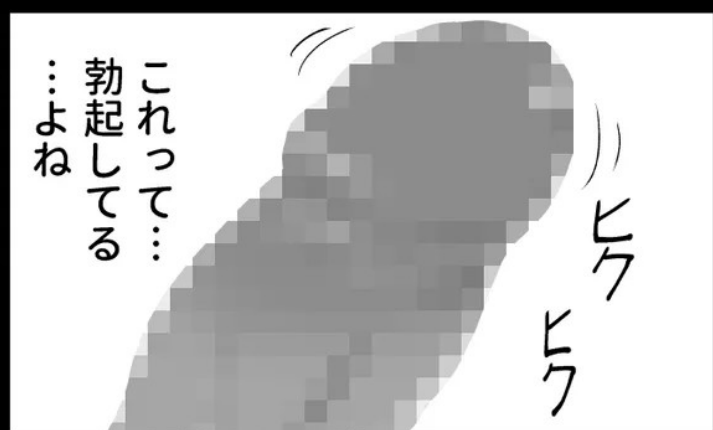
下のほう  
失礼しますねー



かゆいところ  
ありませんか  
ー？



...



そう これは  
ただの性欲処理  
お世話の一環  
だから：

溜まっていると  
つらいだろうから  
スッキリさせて  
あげなくちゃ

体はしわしわ  
なのに  
おちんちんは  
ガチガチ：

夢中じゃぶり  
ついちゃう…♡

ピク  
クツ

ブ  
レ

じゅっ  
じゅっ  
じゅっ





ズズズ  
ズ...



なにこの精液  
濃すぎ:♥

やば:  
口に射精されて  
完全に発情しちゃった



ま、まだ  
おちんちん  
大きいまま  
ですね:



アツコにも  
精液注いでほしい...!

ぬぎ

今度はここ…  
おまんこで気持ちよく  
してあげますから  
またたくさん  
出してください！

すし…  
一回出したのに  
全然衰えてない

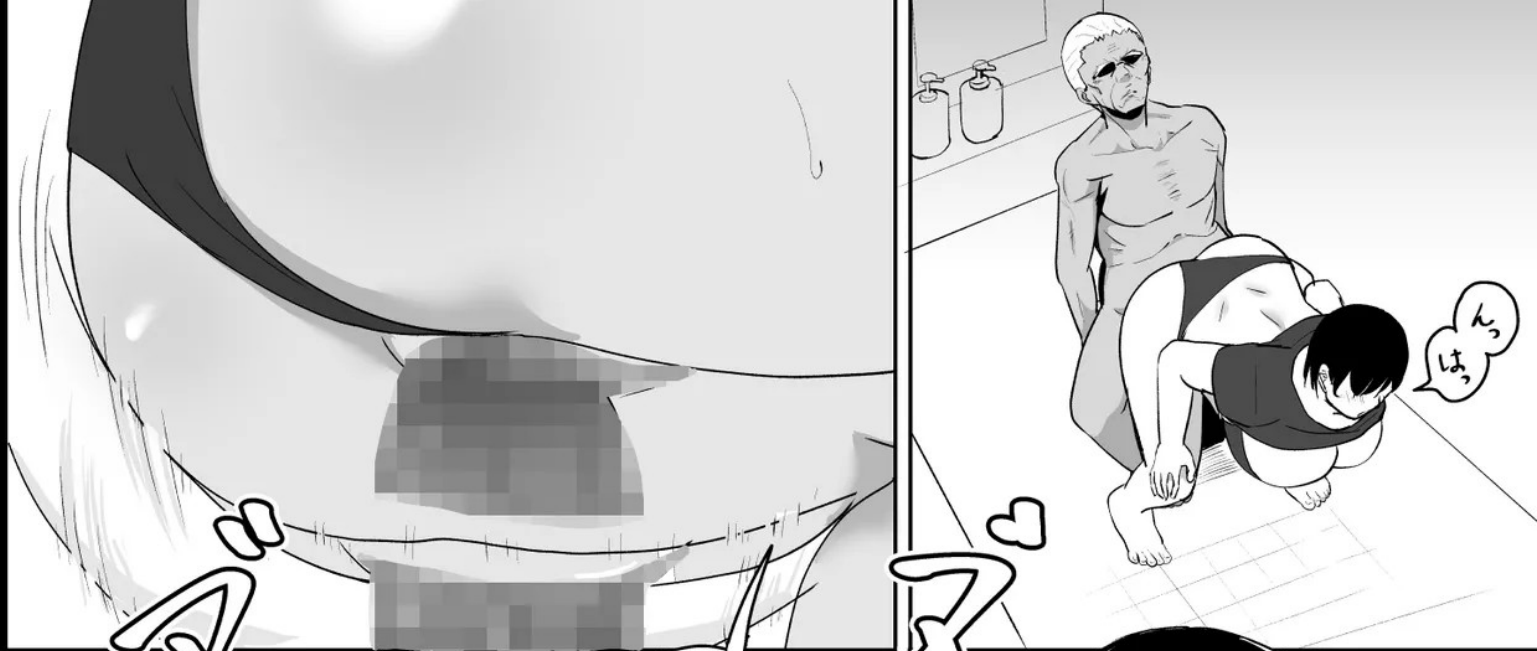
入っ  
ちやう

硬あ…  
♥

ギチ

ギチ

ギチ  
ギチ  
ギチ



おちんちん  
すごお：  
夫のよりずっと  
硬くて大きい!!

膣壁が擦れるたびに  
理性もゴリゴリ  
削られるッ♥





良質な乳汁  
が出そうだ

ハリのある肌は  
ふくよかな乳房

ホオ  
これはなかなか  
上物だな



ぐっ...あ♡  
すっ...あ♡



グイッ

ぐっ...あ♡

骨盤もしっかり  
しておる  
子を産むのに  
申し分なし

ズチャ

ズチャ

万全な受胎を  
果たすためには  
さらに仕上げねば

んはあっ♡

あっあっ♡

あっ♡

クリ  
クリ

お前は身も  
心もワシに捧げ  
母となるのだ

バブル

ああっ♡

イクツ  
イッチャウ!!

女としてうまれた  
意味を知れ……

んはあっ♡

イクツ  
イクツ



おっ

おっ

グッ

ドッ

ズンズン

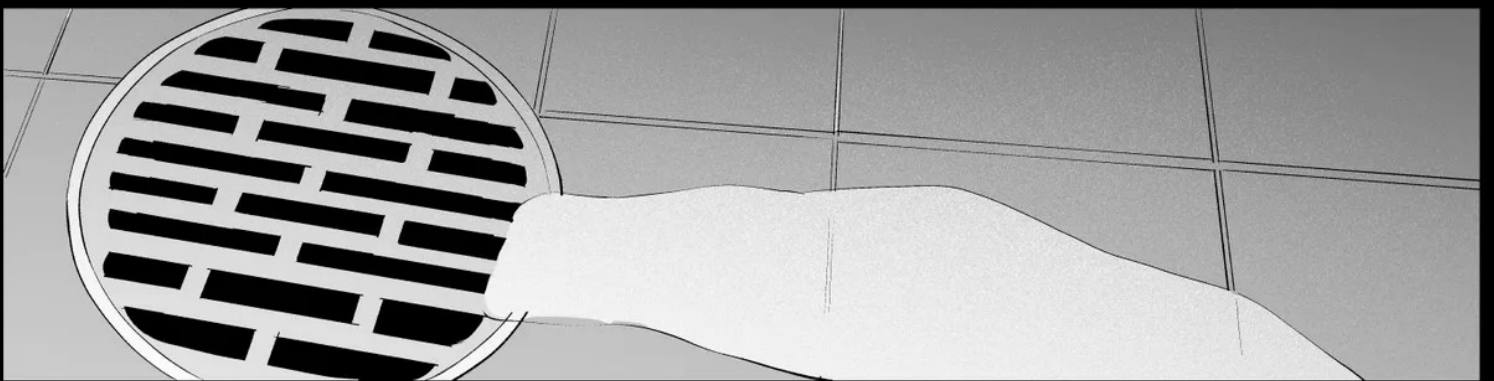
おっ

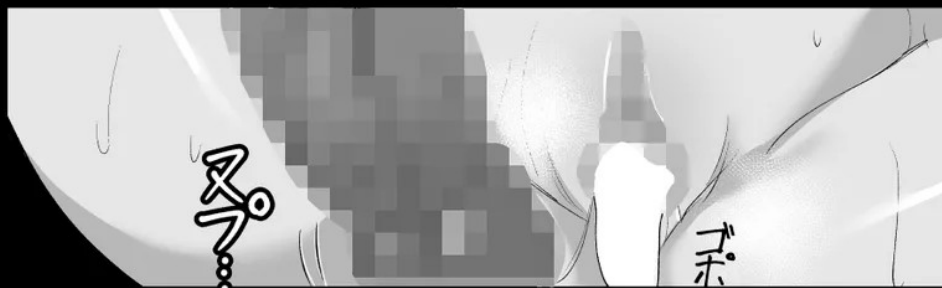
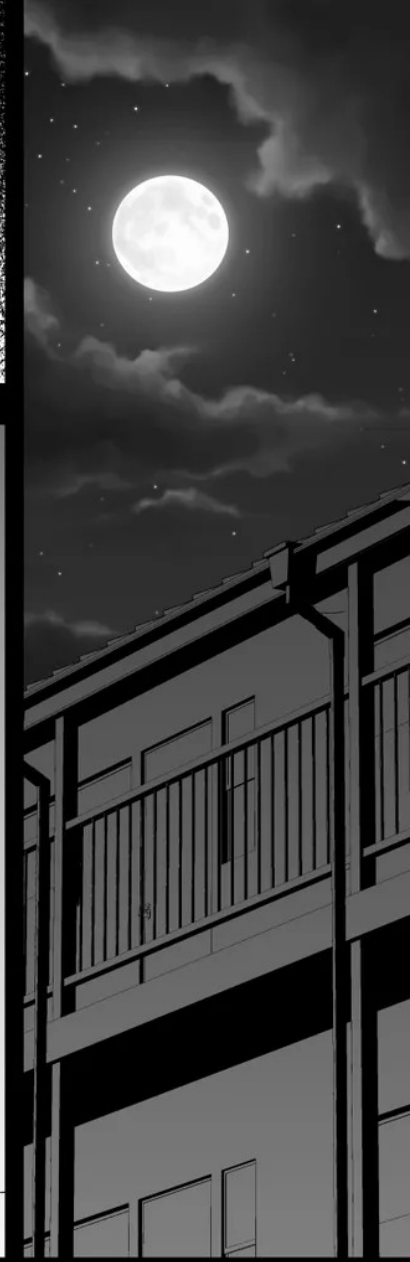
おっ

ズンズン

ズンズン

ズンズン







この女を  
ワシの器にしよう

ビクッ

ビクッ



今日あたり  
久々にどうかかな?



なあ早苗

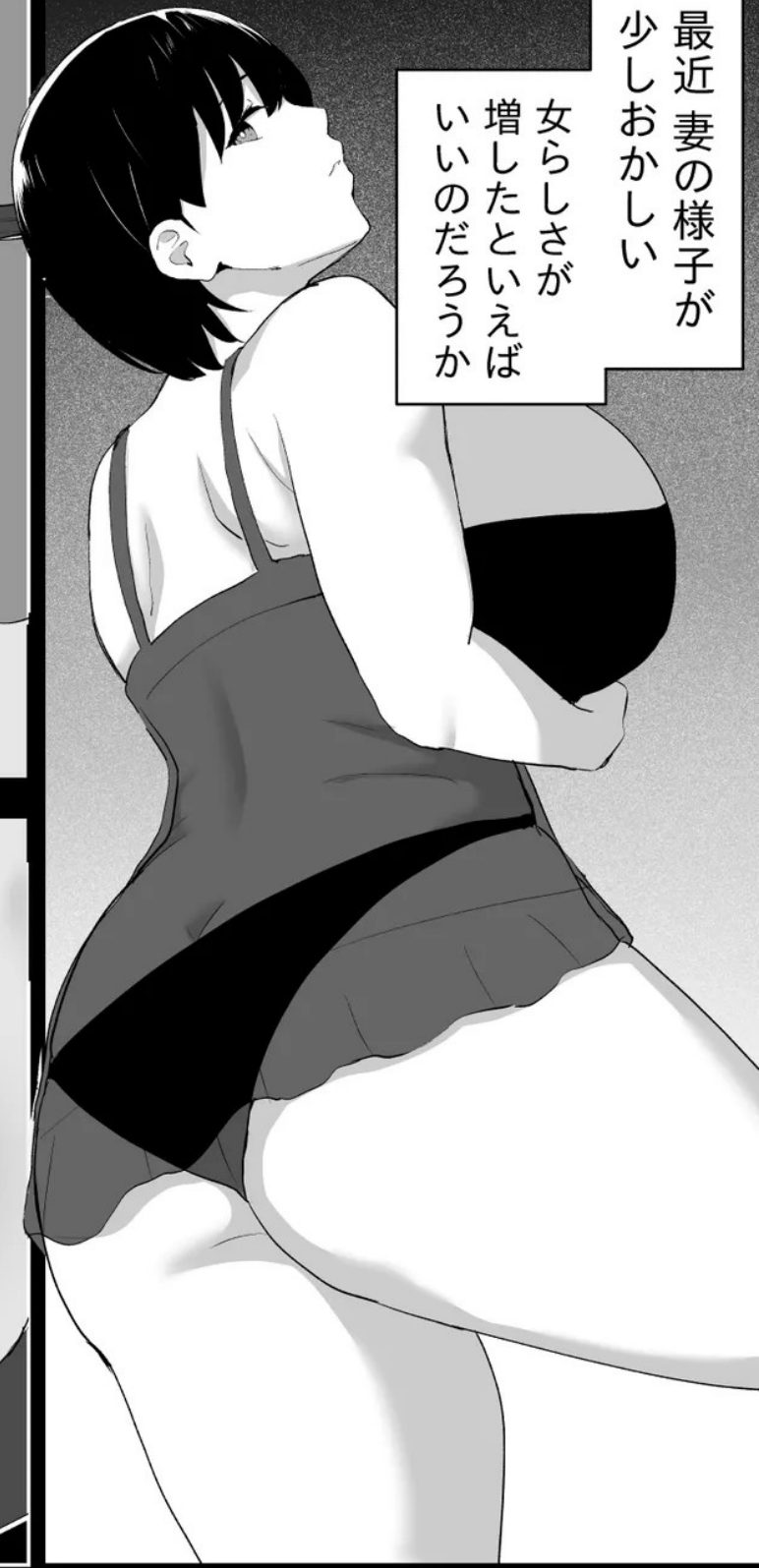
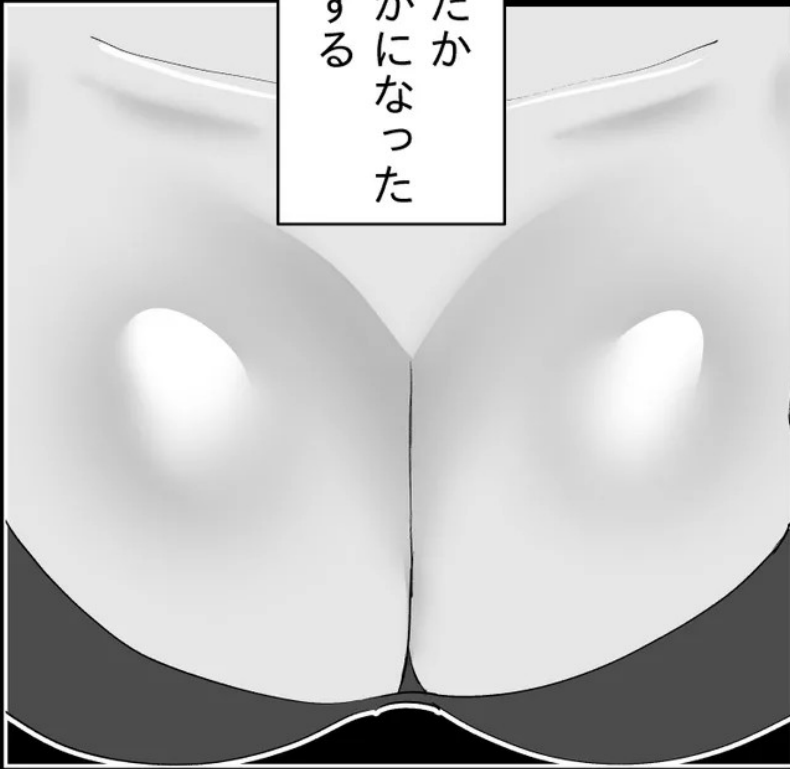
俺たちも  
そろそろ  
子ども欲しく  
ないか?

最近妻の様子が  
少しおかしい

女らしさが  
増したといえ  
ばいいの  
だろうか



なんだか  
艶やかにな  
った  
気がする



ごめんなさい  
疲れて  
クタクタなの

また  
今度ね

仕事と偽って  
他の男のところ  
に通っている  
とか…

まさかな  
妻にかぎって  
そんなことは…







おっおっ

ぐんぐん

はあーっ

ぐりぐり

そろそろ  
頃合いか

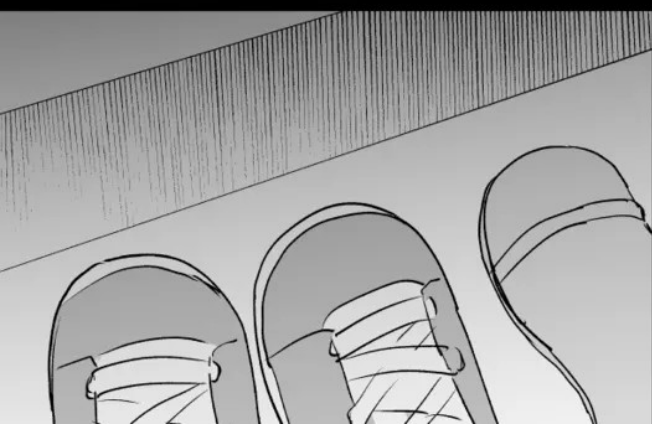
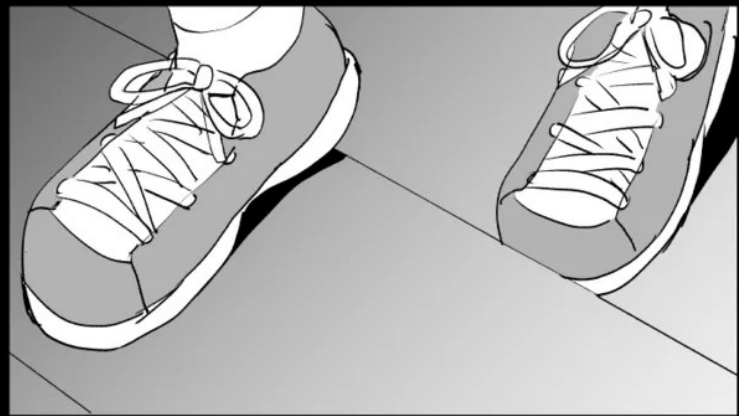
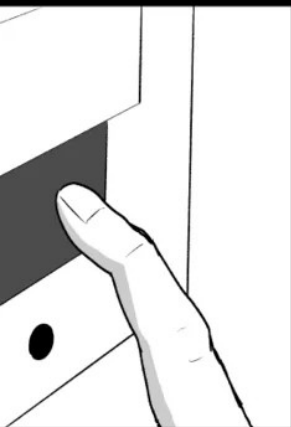
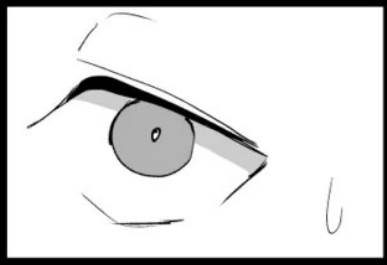
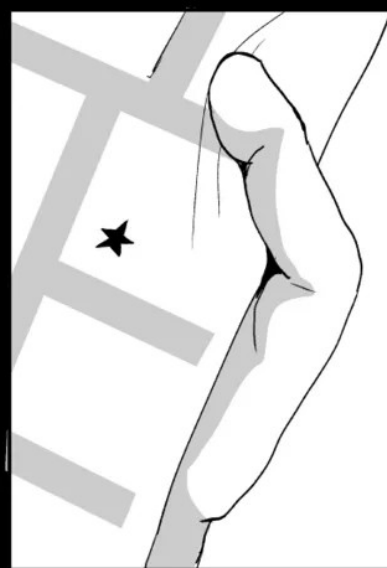
びんびん

ぐんぐん

お前の子宮も子を孕みたいと物寂しそうにしておるな

おっおっ

おっおっ





本来ならば  
私が母体となる  
予定だったのですが

残念ながら  
私は子を産めない  
身体なのです

いったいなにを  
言っているんだ  
この人は

なっ  
ちよつと!!

まあ  
カチカチ…♡

哀れな者同士  
慰めあいましょう?

ふふっ  
胸には自信  
ありますの

存分に  
気持ちよくして  
さしあげます♡

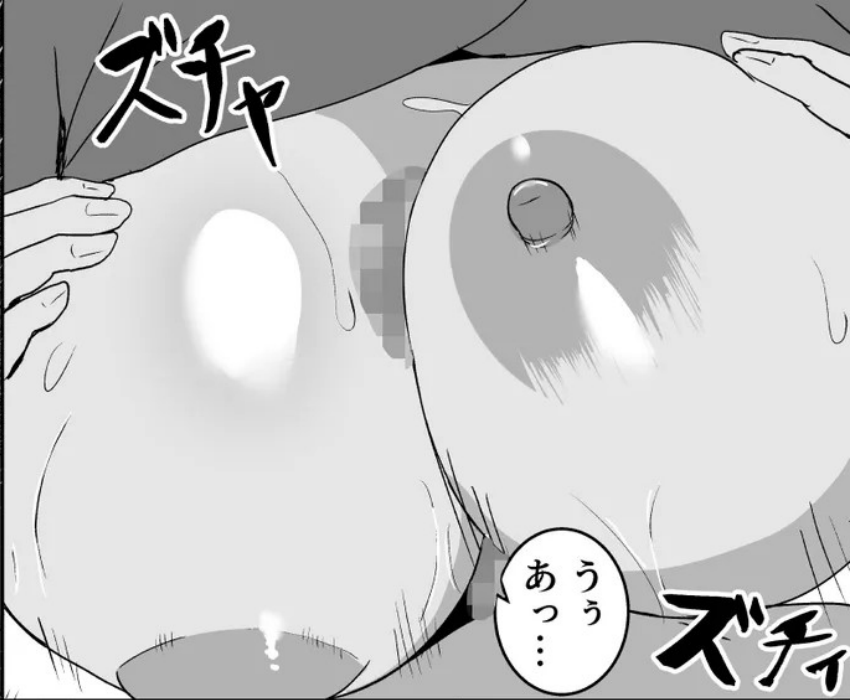
ボン



柔肌に  
揉みしだかれる  
感触をお楽しみ  
ください

ふふっ  
とろけたお顔…♡

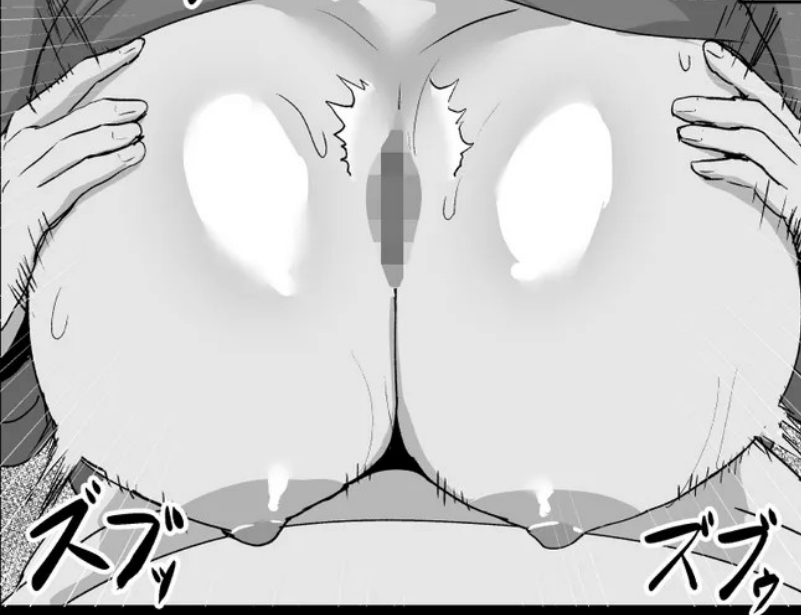
ズブ



ズチャ

うう  
あっ…

ズチャ



ズブ

ズブ



はあっ

あっ♡  
♡♡お  
す♡♡  
…♡



罪悪感など  
不要ですよ

あちらも  
楽しんでるの  
ですから





はあ：  
あんなに愛してもらって  
奥さまが羨ましい

ちよっと  
嫉妬しちゃいます



ふふっ  
このおちんちんも  
限界みたいですね

奥さまとは  
ずいぶん  
シテいなかったの  
でしょう？

どうぞ  
遠慮なさらずに  
溜まっているものを  
ビューって吐き出して  
ください♡





お前の子宮を  
満たしてやる

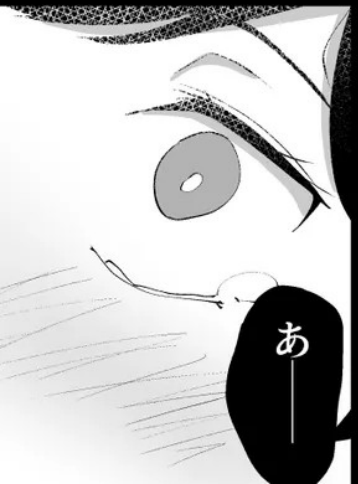
はぁっ  
あっ  
あ

あっ!!  
んん

おまんこっ  
もう限界い…!!

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ



あ



はぁっ  
孕ませてえ  
…ツ  
はぁっ

ゲブブ…




お願いします  
膈内に精液  
くださいい…

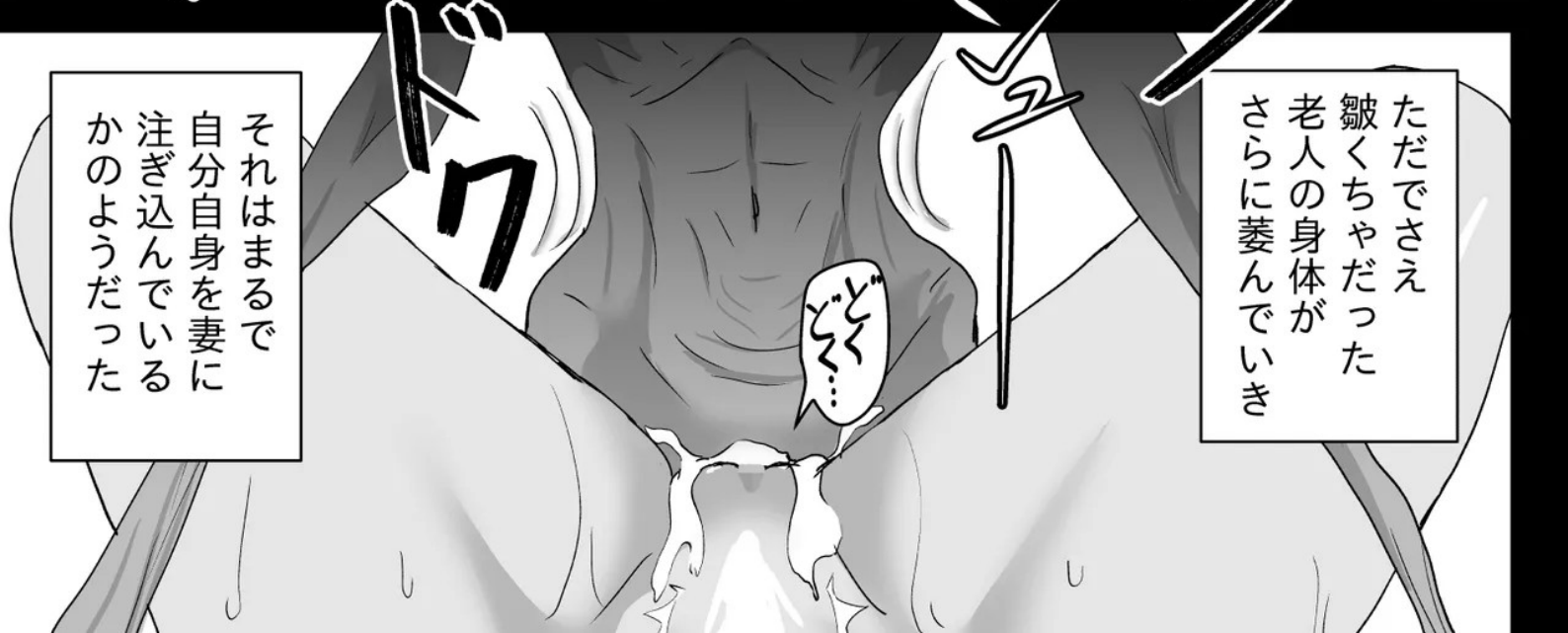
しっかりと  
受け止める

キエ…



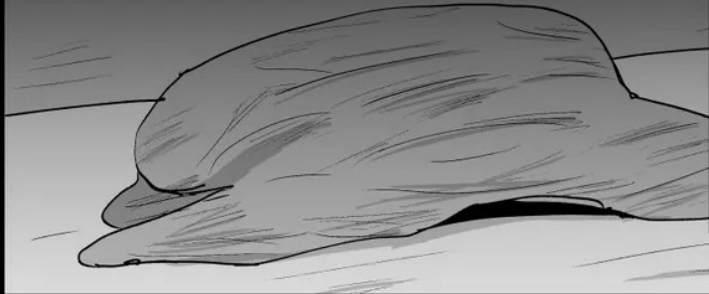


その時の異様な光景は  
あとで思い返してみても  
幻覚かなにかだったんじや  
ないかと疑ってしまう



ただでさえ  
皺くちやだった  
老人の身体が  
さらに萎んでいき

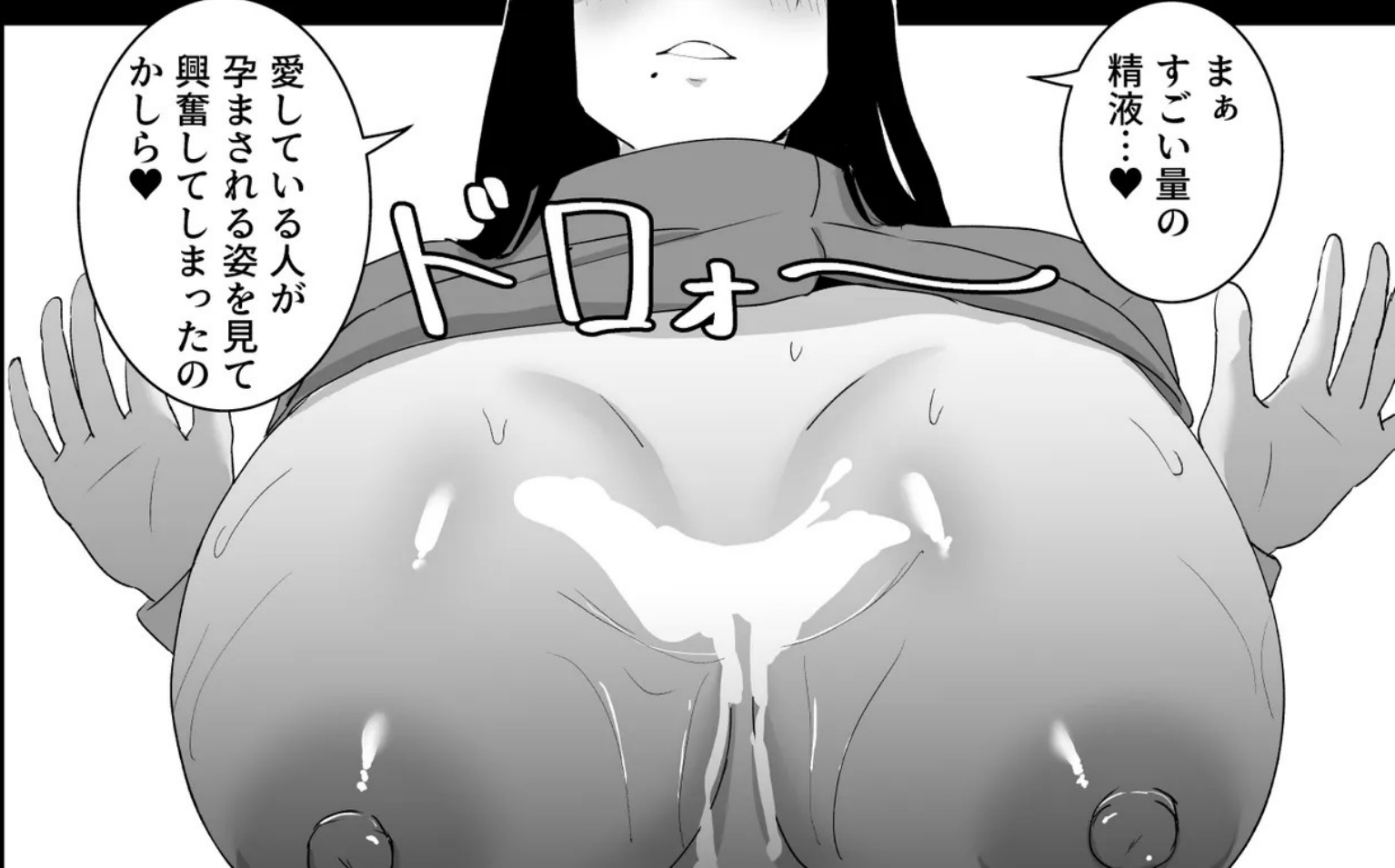
それはまるで  
自分自身を妻に  
注ぎ込んでいた  
かのようだった



そして先ほどまで  
老人だったものの  
残骸だけが  
そこに残っていた…



うお…  
おっ…



愛している人が  
孕まされる姿を見て  
興奮してしまったの  
かしら♥

まあ  
すごい量の  
精液…♥



これから  
一緒に育てて  
いきましようね

んんんん...



トクーン  
...

終